

「一人ひとりちがうその人の事情を理解し、気持ちに共感し、成長と学習をきめ細かに支援する」という設立趣旨を大切に、継続的な支援活動を行ってきた。そうした成果はフリースクールや映画作りなどの活動に参加する子どもたちの数も増え、活動自体も活発化していることに現れている。

昨年度に引き続き、埼玉県教育局の事業委託を受けたこと、また越谷市と協働事業を継続したことなど行政や他団体との連携をさらに深めることができた。地元の企業を通して地域の市民から広く寄付を集めるなど新たに地域とのつながりができた。埼玉県労働者福祉協議会とのつながりもできた。

助成金事業では、職員のスキルアップと基盤強化のための研修事業（2007～2008年継続実施）として、Panasonic NPO サポートファンドを活用し開始することができた。

1. 事業の成果

(1) フリースクール事業

- ・平成19年度は32名でスタートし、8名（3月末時点で4名）が退会し、9名が入会した。（3月末の在籍：37名、平成20年度は33名スタート）
- ・学習やスポーツ等が活発化した。
- ・スクール生発案の京都旅行（14名参加）を実施した。
- ・音楽活動がさらに活発になり、メンバーも増え、7回の演奏会を実施できた。
- ・進学希望者全員は、希望の中学校、通信制や定時制の高校進学が決まった。
- ・民間企業とのスポーツ交流会を継続して実施した。
- ・越谷コミュニティーセンターと協働し、講座（演劇）を開催し、昨年以上の参加者を得た。
- ・フリースクール全国ネットワーク主催の文化祭に参加した。
- ・保護者会（3回実施）が活発になり、親同士の交流も深まった。
- ・関係機関と連携し、スクール生や保護者の支援を行なった。

(2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業

- ・NPO法人コ・ラ・ボ埼玉と連携し、心の相談室コ・ラ・ボに相談員を派遣しシンポジウムなどにも協力した。
- ・親の会を定期的に行うことができた。
- ・精神保健福祉センターや保健所など他団体と連携を深めた。

(3) 生涯学習にかかわる事業

- ・子どもゆめ基金の助成金（3年目）で、5月より土曜日に、20代前半までの子ども・若者を対象に映画制作を行い、3月に上映会を開催した。
またドコモからの助成金で撮影機材とマイク機器を購入し、より本格的な映画作りが可能となった。
- ・食育事業「ひるめし大作戦」は、週1回、昼食作りを昨年に継続して行った。
- ・昨年に続き、埼玉県ひきこもり集いの場運営補助として、20歳以上の居場所「ほっとりんご」を月2回程度計画通り運営できた。
- ・埼玉県教育局から不登校の子どものための「サマーラストキャンプ」の委託を受け、8月に実施し、参加者やその保護者から好評をえた。
- ・平成17年度越谷らるごが中心となって立ち上げた、行政と地域との協働事業「わくわく体験プロ

ジェクト」を7月以降、6回活動し、3月に報告冊子を作成した。

- ・ ジャズ学講座およびジャズミニコンサートは、昨年同様開催することができた。参加者数も増加している。
- ・ 学習会（坂後氏）、講演会（最首氏、芹沢氏）を行なった。

(4) 活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業

- ・ ホームページを刷新、リーフレットの刷新を通じて広報を充実させた。
- ・ 越谷らるご通信の発行、子ども通信の発行、ホームページの更新、メールマガジンの発行など予定通りできた。

講師活動としては、保健所（越谷、川口、春日部、幸手、秩父）、フリースクール全国ネットワーク、東京立正短大、さいたまチャイルドライン、労働福祉協議会、さいたまNPOセンターから依頼があり、スタッフを派遣した。

2.事業の実施にかかわる事項

特定非営利活動にかかわる事業

事業名	事業内容	実施場所
(1) フリースクール事業	年間を通して、学校以外の子どもの居場所・出会い・交流・学習の場の提供、活動支援、相談活動、見学・体験入会等の実施、情報提供などを行った。	本法人の事業所他
(2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業	親の会 毎月1回、年間を通して実施し、各回10名前後が参加した。。	本法人の事業所
	相談活動 通常の相談の他、NPO法人コ・ラ・ボ埼玉の相談活動に協力した。	本法人の事業所他
(3) 生涯学習にかかわる事業	映画制作（アップルシネマプロジェクト） 子ども若者を対象に（延べ324名参加）5月より3月までの土曜日に活動し、3月に作品の上映会（75名参加）を開催した。	本法人の事業所他
	ほっとりんご 20歳以上の人の居場所として毎月2回、座談会や調理など多様な活動を実施した。	本法人の事業所他
	食育事業（ひるめし大作戦） 年間を通し、週1回の調理実習を、不登校の子どもの対象に行った。	本法人の事業所
	行政と地域との協働事業（わくわく体験プロジェクト） 7月～1月の土曜日に6回、体験活動等を行った。	中央市民会館他
	講演会・学習会 講演会を2回、学習会を1回開催した。	本法人の事業所
	サマーラストキャンプ(埼玉県委託事業) 8月に3泊4日の映画制作キャンプを県内の不登校の小中高生（23名参加）を対象に実施した。	大滝げんきプラザ
	ジャズ学講座 ジャズピアニスト板倉克行氏らによる講座等を4回開催した。 各回10～20名程度の参加者があった。	本法人の事業所
(4) 活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業	通信の発行 毎月20日前後に（7・8月号のみ合併号）越谷らるご通信を発行した。 子ども通信も発行した。	本法人の事業所他
	インターネットによる発信 メールマガジン(毎月発行)・ホームページの刷新・発行を行った。	本法人の事業所
	講師派遣 行政、民間などから依頼され講師を派遣した。	保健所他
その他	エアコンを購入し、快適に活動できるようになった	